



日本最南端の古墳群巡り

鹿児島・大隅半島

古民具や考古資料を収蔵
肝付町立歴史民俗資料館



塚崎古墳群

▼ 5km

一枚岩を流れる大滝
轟の滝



▼ 2km

ここから、大和へ!?
神武天皇御発航
伝説地碑



▼ 2km

4月はルピン鑑賞
柏原海岸



▼ 4.5km

横瀬古墳

▼ 2.5km

白砂青松の空間
くいの松原



▼ 3km

大崎町の複合施設
あすばる大崎



▼ 8.5km

季節の花木と展望所
四季の森



▼ 9km

東串良町の物産館
ルピノンの里



▼ 8km

唐仁古墳群

▼ 4km

肝付町立歴史民俗資料館 & 塚崎古墳群



大隅の古墳たち
3世紀半ばから約400年間続いた古墳時代。畿内からおよそ500km離れた大隅にも、古墳文化ははやくから根付いていました。なぜ、どうやってここに...? 現代の日常の中に点在する古墳を巡り、謎に触れてみましょう。

大崎町 横瀬古墳
Yokose Kofun
古墳時代中期に築造された前方後円墳。畿内地方の土器が出土したことや、畿内の古墳であることから、中央政権と深い結びつきがあることが推測される。

東串良町 唐仁古墳群
Toujin Kofun-Gun
総数130基を数える県内最大の古墳群。古墳時代中期初め頃に築造された1号墳は県内最大。九州で3番目の大きさを誇り、当時の強い権力をうかがうことができる。

肝付町 塚崎古墳群
Tsukazaki Kofun-Gun
大隅最古の11号墳は古墳時代の初期に造られたことから、畿内との関係が深かったと推察される。1号墳の直上には推定樹齢1300年の大クスが根を張る。

※畿内(きない)：都や皇居に近い地域の呼称。ここでは古墳時代の中央政権が位置していたとされる近畿地方を指す。

1km